

★ ラインナップ ★

秋の星空

安倍晴明史跡めぐり 其の一

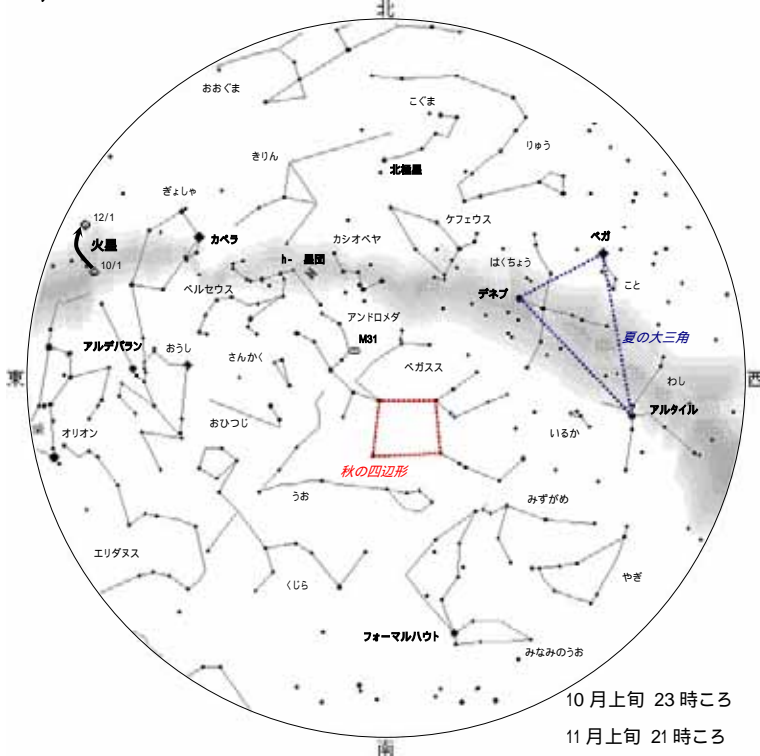
天と地上の関わり

安倍晴明(921年 - 1005年)

倫敦(ロンドン)博物館めぐり その1



☆ 秋の星空 ☆



10月上旬 23時ころ

11月上旬 21時ころ

12月上旬 19時ころ

秋の夜空は、なぜか水に関係のある星座たちがたくさん描かれています。それは、今から5000年以上も昔、星座の故郷といわれるメソポタミア地方では、秋は雨季の季節だったから。恵みの水をもたらす雨を待ち望んだ人々は、秋の夜空に水に関係のある星座を描き、雨季がやってくるのを知る目印にしました。

夏の大三角形が西の空へ傾くと、秋の目印である「ペガサス座の四辺形」が頭の真上に昇ってきます。この四辺形の南で、大きな水瓶を抱えている少年が「みずがめ座」。大神ゼウスに気に入られ天にあげられた美少年ガニメデが、お酒をつぐ姿です。水は人々に幸せをもたらすもの…だからか、みずがめ座を形づくる星たちには“幸運”の名がつく星がたくさんあります。

水瓶から流れた水は、「みなみのうお座」の口へと流れ込んでいます。この口に明るく輝く星がフォーマルハウト。秋の夜空で輝く唯一の1等星です。

みずがめ座の西には、上半身は山羊、下半身は魚という不思議な姿をした「やぎ座」がいます。これは怪物テュフォンに襲われそうになった牧神パーンが、慌てて変身した姿だとか、山羊になって走って逃げようか、それとも魚になって泳いで逃げようか…悩んでいる姿が目浮かぶようですね。

ペガサス座の南東には、2匹の魚が描かれた「うお座」がいます。こちら、怪物テュフォンに襲われそうになった美の女神アフロディテとその息子エロスが変身した姿です。魚に変身して川に逃げこもうと考えた2人は、離れ離れにならないように足元をしっかりと紐で縛りました。そのため夜空に描かれた魚たちもしっかり尻尾の部分でつながれています。

うお座の東には、「おひつじ座」が、そして南には、大きな「くじら座」が描かれています。くじら座は、古代エチオピア王国の物語に登場するお化けくじらです。この物語の主人公たち「アンドロメダ座」、「ペルセウス座」、「カシオペア座」、「ケフェウス座」は、ペガサス座の東側に勢ぞろいし、秋の夜空を華やかに彩っています。

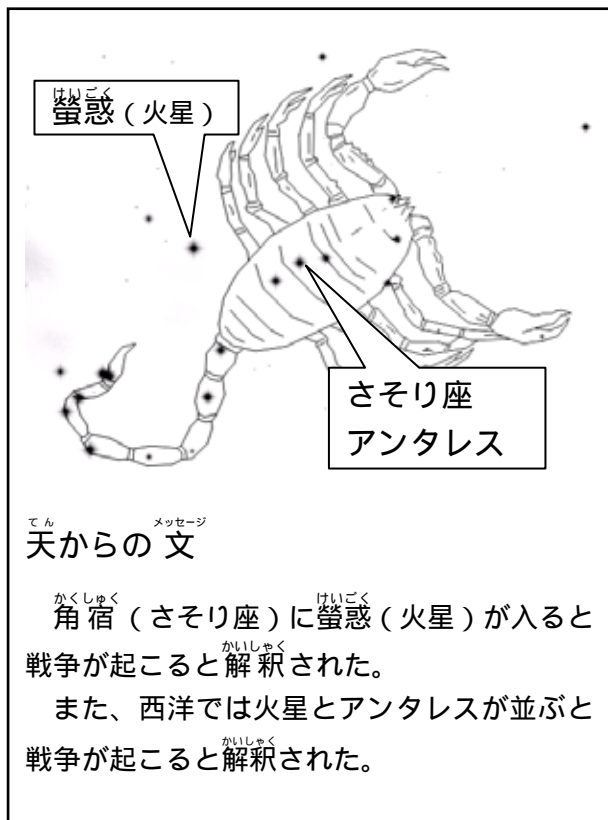
安倍晴明史跡めぐり 其の一

安倍晴明(921 - 1005 年)という人物をご存知でしょうか？ 夢枕獏の小説『陰陽師』をはじめ、数多く小説や漫画、映画が制作され、一大ブームを巻き起こしたので、多くの人たちにその名が知られている人物なのではないでしょうか？

さて、浅口市には安倍晴明、そして、彼の最大のライバルである蘆屋道満のゆかりの史跡があります。今回から安倍晴明と蘆屋道満の人物像とともに、彼らのゆかりの地を紹介していくことにしましょう。

■ 天と地上の関わり

安倍晴明や蘆屋道満について理解するためには、彼らが活躍していた時代の天と地上の関わりについて知っておく必要があります。ここではまず、当時の天と地上の関わりについて説明しておきましょう。



当時の日本では、中国の社会制度や思想が導入されていましたので、天と地上の関わりについても、中国の考え方が色濃く反映されていました。当時、中国では、天には天上界の支配者天帝を中心とした社会があり、地上の支配者(天子)は天帝の支持を受けることで地上を治めることができる、と考えられていました。

そして、天に起こるさまざまな天文現象は、「政治が正しく行なわれていないことへの警告」や「近いうちに戦争が起こる」など、天帝が地上の支配者に送る「天からの文」であると考えられるようになりました。「天からの文」を正確に読み取るための学問が天文道と呼ばれているものです。

そして、地上の支配者たちは、天文道を行なうための組織、陰陽寮という役所を作り上げたのです。

陰陽寮には天文道のほか、日取りや方向の吉凶を占う陰陽道、暦を作成する暦道などの仕事が行なわれていました。現在の天文学とは少し内容は異なっていますが、陰陽寮とは現在の国立天文台のような組織だったのです。

■ 安倍晴明(921年 - 1005年)



安倍晴明は平安時代中期の陰陽師で、陰陽道の実力者賀茂忠行、保憲親子に陰陽道や天文道を学んで、陰陽寮における天文道の最高責任者、天文博士になりました。

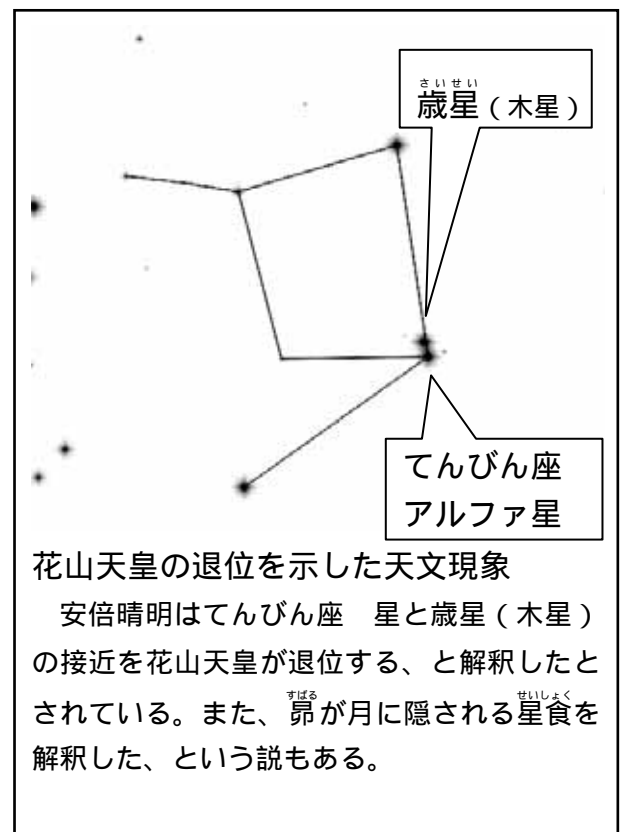
天文博士の重要な仕事の一つに、天に起こる現象を正確に読み取り、その内容を宮廷に伝えるというものがあります。安倍晴明はこの能力に特に優れていて、天に現れた現象の解釈を天皇(天子)に直接報告する天文密奏という重要な仕事をまかされていました。

そのほかにも、安倍晴明はさまざまな超人的な能力を持ち、数々の難問を解決したと伝えられています。その能力の一端を表すものとして、『古事談』には、花山天皇の頭痛の原因が、前世の人物の頭蓋骨が野ざらしになっているためであると突き止めたという記述や、時の権力者藤原道長の栄華を記した『大鏡』には、晴明が花山天皇の退位(天皇の位を退くこと)することを天文現象から読み取った、といった記述があります。特に花山天皇の退位の記述は、高校の古文の教科書にも出てくるので、読んだことのある方もおられるのではないのでしょうか。

さて、安倍晴明はこのようにさまざまな能力を示すことで、いつしか並ぶもののない陰陽師の第一人者と称されるようになりました。

こうした晴明の噂を耳にし、その噂を自ら確かめるために京都に上り、果敢に戦いを挑んだ人物がいました。それが彼の宿命のライバルと称される播磨の国の法師陰陽師 蘆屋道満なのです。

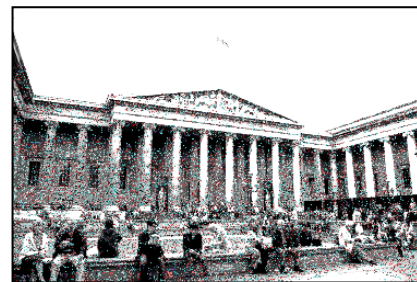
今回は、蘆屋道満について詳しく見ていくことにしましょう。



倫敦(ロンドン)博物館めぐり その1

戸田博之(国立天文台岡山天体物理観測所)

ちょっと遅い夏休みにイギリスのロンドンで博物館巡りをしてきました。
ロンドン滞在 70 時間に訪れた博物館を紹介します。



<大英博物館正面玄関>

関西空港からシンガポール経由でロンドンに着いたのは現地日時 9 月 20 日の午後 7 時過ぎ。大英博物館の近くのホテルに直行。翌日からの博物館巡りのため、すぐに就寝。

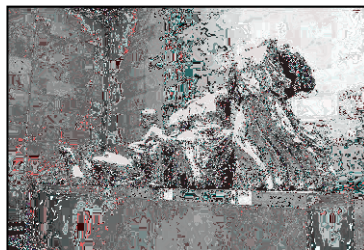
9 月 21 日、ロンドン博物館巡り 1 日目。この旅の目的「ギリシャ・アテネのパルテノン神殿にあった彫刻類を見る」を果たすため大英博物館に向かいました。ホテルから歩いて十数分(近道をしようとしたらロンドン大学の中に迷い込んでしまいました。数分で行けるはず。)で大英博物館北玄関に着き、入館。入館料はタダ！です。でも、寄付はしてくれと大きい透明な募金箱があります。



<ロゼッタ・ストーン>

早速パルテノン神殿の彫刻類の展示室に向かおうとしたのですが、広すぎてどこ?? 館内地図を見ながら人垣ができていた古代エジプト文字の解読の手がかりとなった「ロゼッタ・ストーン」を間近で見て、エジプトのミイラ達やギリシャから持ってきた彫刻達の間を抜け、やっとパルテノン神殿の展示室のドアにたどり着きました。ドアを開け中に入るととても広い展示

室です。壁一杯にレリーフが埋め込まれ、展示室の両端には彫刻が立っています。片方の端に行って大理石の彫刻群を見上げ「おおおー」と何となく達成感。そして「おおおお...?」何となく違和感。振り返って展示室全体を眺める...「ええええー!」展示室の反対側の端にも大理石の彫刻群、そこま



<パルテノン神殿の彫刻>

での両壁に合わせて 100m 以上は続くレリーフ。以前、

アテネで実際にパルテノン神殿を見てメチャクチャ感動したのですが、その感動にこんなにたくさんの物が抜けていたなんて...あの時の感動は何だったの?? とちょっとがっかり。そして、こんなにたくさんの物をギリシャから持ち帰ったイギリス人にあきれちゃいました。「ギリシャに返せよなあー」



<両壁に続くレリーフ>

その後、大英博物館内の他の展示室をまわって、ミュージアムショップも見て(ロゼッタ・ストーンのマウスパッドやキーホルダーが気になりましたが、高い! 高すぎ!!)、南側の正面玄関から出て、次の博物館に地下鉄で向かいました。 つづく(かな?)

< 編集後記 >

ちょっと遅い夏休みは、南の海に浮かぶ“ハートアイランド”へ。身も心も癒されました...。 Yumi

前号の予告通り、マニアックな内容を書きました。

後、何回か続きますが、お付き合いいただけたら幸いです。 Kabu

次はどこ博物館へ行こうかなあ?? アメリカの自然史博物館、まだ行ってないなあ~ peg

のんびり気分夏休みに天狗の森へ...雲の上でスケッチの旅。心の中までリフレッシュ KIYO

ここ数年、夏がアツという間に過ぎ去っていく...。さてと、秋の紅葉を楽しむこととしよう tomo

この博物館通信は、岡山天文博物館が作成しています。次回 冬号は 12 月ごろ 発行予定です。

岡山天文博物館 浅口市鴨方町本庄 3037-5 TEL・FAX: 0865(44)2465 休館日: 月曜・祝日の翌日

博物館ホームページ URL <http://www.city.asakuchi.okayama.jp/museum/index.html>